

2025年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年1月10日

上場会社名 株式会社コシダカホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 2157 URL <http://www.koshidakaholdings.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 腰高 博
 問合せ先責任者(役職名) 専務取締役 (氏名) 土井 義人 (TEL) 0570-666-425
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年8月期第1四半期の連結業績(2024年9月1日~2024年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年8月期第1四半期	15,095	14.5	728	27.1	710	△30.4	471	△40.1
2024年8月期第1四半期	13,182	16.9	573	7.3	1,021	90.5	787	140.8

(注) 包括利益 2025年8月期第1四半期 550百万円(△25.9%) 2024年8月期第1四半期 742百万円(67.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年8月期第1四半期	5.79	5.35
2024年8月期第1四半期	9.66	8.83

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年8月期第1四半期	60,366	30,993	51.3
2024年8月期	61,714	30,354	49.2

(参考) 自己資本 2025年8月期第1四半期 30,984百万円 2024年8月期 30,346百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年8月期	—	7.00	—	11.00	18.00
2025年8月期	—	—	—	—	—
2025年8月期(予想)	—	12.00	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年8月期の連結業績予想(2024年9月1日~2025年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	34,473	12.7	5,519	14.2	5,498	△0.8	3,574	△8.3	43.83
通期	71,057	12.3	11,578	13.9	11,536	5.5	7,499	11.3	91.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1社(社名) 株式会社コシダカデジタル、除外 1社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2025年8月期1Q	83,781,480株	2024年8月期	82,300,000株
2025年8月期1Q	1,357,899株	2024年8月期	1,357,519株
2025年8月期1Q	81,534,943株	2024年8月期1Q	81,532,624株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信【添付資料】P. 4「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11
(収益認識関係)	11
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、ウクライナ戦争、中東におけるイスラエルとその周辺勢力間の紛争に起因するエネルギー・食料品の価格上昇が継続する中、日米両金融当局の政策スタンスの転換点を迎え為替レートは景況感・物価に関連する経済指標に敏感に反応する地合いにて推移しました。

一方、インバウンド観光客の増加や、大手企業先行とはいえ給与水準引き上げ傾向や、少数与党下での手取りに関わる税制見直しなども含め、物価・賃金の安定的上昇につながる可能性も見えてきております。

各セグメントの業績は次の通りであります。

(カラオケ)

主力のカラオケセグメントでは、積極的出店を継続し、経年した既存店舗と同一商圈内により規模の大きな店舗を新規に出店するリロケーション型出店4店舗を含む16店舗を開設しました。また、競合・市場状況を考慮したきめ細かなプライシングに努め、既存店客数の増勢を持続させることができました。

また、中期経営ビジョン「エンタメをインフラに」の実現に向け、カラオケ以外のエンターテインメントの提供、コンテンツコラボの積極的展開、採用・教育体制の拡充を進めた他、新規エンターテインメント及び各種業務効率化に向けたDX施策の開発・導入準備を進め、新たなエンターテインメントプラットフォームとしてエンタメボックス「E-bo」の首都圏店舗への導入を進めました。組織体制の強化の一環として給与水準の引き上げを含む人事制度(Koshidaka Workstyle Innovation Plan)の刷新も行っております。

海外においても、東南アジアでの新規出店を継続し、マレーシアに2店舗、タイに1店舗の「カラオケまねきねこ」をオープンいたしました。

当第1四半期連結累計期間末のカラオケセグメントの国内店舗数は、前連結会計年度末比13店舗増加し677店舗、海外店舗数は同3店舗増の4か国25店舗（韓国4店舗、マレーシア15店舗、タイ4店舗、インドネシア2店舗）となりました。

以上の結果、カラオケセグメントの売上高は145億64百万円（前年同期比14.6%増）、セグメント利益は10億36百万円（同3.6%増）となりました。

(不動産管理)

不動産管理セグメントでは、主要物件である「アクエル前橋」、「フルーレ花咲ビル」他、既存・新規物件とも安定的に推移いたしました。

以上の結果、不動産管理セグメントの売上高は4億58百万円（前年同期比37.8%増）、セグメント利益は30百万円（同33百万円利益額増加、黒字化）となりました。

(その他)

その他セグメントでは、飲食店舗5店舗（銀だこハイボール酒場、カフェエクラ）などの収益が堅調に推移しました。

以上の結果、その他セグメントの売上高は2億8百万円（前年同期比0.3%減）、セグメント利益は1百万円（同62百万円利益額増加、黒字化）となりました。

以上により、当第1四半期連結累計期間の当社グループ（当社及び連結子会社）の経営成績は、以下の通りとなりました。なお、前年同期には営業外収益において解約金収入2億21百万円、為替差益1億55百万円を計上した一方、当四半期は営業外費用において為替差損86百万円を計上したことにより、営業利益の前年同期比1億55百万円の増益に対し経常利益は同3億10百万円の減益となりました。

売上高 150億95百万円（前年同期比14.5%増）
 営業利益 7億28百万円（前年同期比27.1%増）
 経常利益 7億10百万円（前年同期比30.4%減）
 親会社株主に帰属する四半期純利益 4億71百万円（前年同期比40.1%減）

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ28億53百万円減少し90億50百万円(同比24.0%減)となりました。これは主に、法人税等の支払及び配当金の支払等により、現金及び預金が28億99百万円減少したことなどによるものです。

有形固定資産は13億77百万円増加し、358億95百万円(同比4.0%増)となりました。これは主に、新規出店に伴い建物及び構築物(純額)が12億23百万円増加、車両運搬具及び工具器具備品(純額)が2億95百万円増加したことなどによるものです。

無形固定資産は79百万円増加し7億75百万円(同比11.4%増)となりました。

投資その他の資産は47百万円増加し、146億45百万円(同比0.3%増)となりました。

固定資産の総額は、15億4百万円増加し513億16百万円(同比3.0%増)となりました。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ13億48百万円減少し、603億66百万円(同比2.2%減)となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ10億60百万円減少し、129億15百万円(同比7.6%減)となりました。これは主に、短期借入金が10億円、未払金が10億66百万円それぞれ増加した一方、未払法人税等が23億67百万円、一年以内返済予定の長期借入金が2億50百万円、預り金が2億41百万円、流動負債のその他が2億79百万円それぞれ減少したことなどによるものです。

固定負債は9億26百万円減少し、164億57百万円(同比5.3%減)となりました。これは主に、資産除去債務が2億86百万円増加した一方、転換社債型新株予約権付社債が10億円、長期借入金が2億40百万円それぞれ減少したことなどによるものです。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、19億87百万円減少し、293億73百万円(同比6.3%減)となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ6億38百万円増加し、309億93百万円(同比2.1%増)となりました。これは主に、転換社債型新株予約権付社債の一部の権利行使を受け新株の発行を行ったことに伴い、資本金及び資本剰余金がそれぞれ5億円増加した一方、利益剰余金が配当金の支払があったことなどにより4億39百万円減少したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

ウクライナ戦争、中東における紛争の長期化、米新大統領の就任、日米金融当局の政策転換に基づく為替の動向など、不透明感が強い中ではありますが、当社におきましては、かねてから標榜しております、積極的出店の継続と、提供サービスの多様化を通じて、全国津々浦々にPER (Private Entertainment Room) を届けるとする中期経営ビジョン「エンタメをインフラに」(EIP: Entertainment Infrastructure Plan) の中間目標の達成を受け、最終目標の達成時期を明確化して、2025年8月期を本ビジョンの仕上げの時期 (EIPファイナルステージ) に入る年度と位置付けて諸施策を一層加速してまいります。

第1四半期連結累計期間及び年間最大の商盛期である12月度の業績が概ね計画線で推移したことから、2025年8月期通期の連結業績につきましては、期初の予想を維持し、売上高710億57百万円 (前連結会計年度比12.3%増)、営業利益115億78百万円 (同13.9%増)、経常利益115億36百万円 (同5.5%増)、親会社株主に帰属する当期純利益74億99百万円 (同11.3%増) を見込んでおります。

なお、当該業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因により異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,772,024	3,872,537
受取手形及び売掛金	1,200,948	1,201,836
商品	180,507	181,386
原材料及び貯蔵品	379,241	404,283
その他	3,403,186	3,392,746
貸倒引当金	△32,566	△2,564
流動資産合計	11,903,342	9,050,225
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	24,817,938	26,041,472
車両運搬具及び工具器具備品（純額）	2,587,181	2,883,072
土地	6,957,299	6,957,299
建設仮勘定	155,672	13,552
有形固定資産合計	34,518,091	35,895,396
無形固定資産		
のれん	446	350
ソフトウェア	546,502	604,954
その他	149,146	170,181
無形固定資産合計	696,094	775,486
投資その他の資産		
投資有価証券	699,663	729,702
関係会社株式	93,922	93,567
長期貸付金	2,163,840	2,157,915
長期前払費用	648,727	614,841
敷金及び保証金	8,290,370	8,381,829
繰延税金資産	2,830,870	2,704,372
その他	427,435	433,747
貸倒引当金	△557,447	△470,703
投資その他の資産合計	14,597,384	14,645,272
固定資産合計	49,811,570	51,316,154
資産合計	61,714,913	60,366,380

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	677,552	698,337
短期借入金	—	1,000,000
1年内返済予定の長期借入金	1,711,240	1,461,240
未払金	1,766,940	2,833,674
未払費用	1,882,305	1,946,297
未払法人税等	2,493,886	126,570
賞与引当金	349,269	188,399
預り金	746,980	505,705
契約負債	3,365,428	3,452,446
その他	982,258	702,736
流動負債合計	13,975,861	12,915,407
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	4,000,000	3,000,000
長期借入金	5,725,060	5,484,750
繰延税金負債	685,008	670,562
資産除去債務	5,934,528	6,221,213
その他	1,039,815	1,081,213
固定負債合計	17,384,412	16,457,739
負債合計	31,360,274	29,373,147
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,070,257	2,570,257
資本剰余金	3,302,786	3,802,786
利益剰余金	26,049,100	25,609,389
自己株式	△675,710	△676,165
株主資本合計	30,746,433	31,306,268
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	96,456	100,810
為替換算調整勘定	△496,873	△422,467
その他の包括利益累計額合計	△400,416	△321,657
新株予約権	8,622	8,622
純資産合計	30,354,638	30,993,232
負債純資産合計	61,714,913	60,366,380

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)
売上高	13,182,967	15,095,172
売上原価	11,031,857	12,549,579
売上総利益	2,151,110	2,545,592
販売費及び一般管理費	1,577,877	1,816,973
営業利益	573,233	728,618
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,543	505
為替差益	155,318	—
貸倒引当金戻入額	—	83,809
解約金収入	221,477	—
その他	124,111	12,246
営業外収益合計	503,450	96,561
営業外費用		
支払利息	8,092	16,041
為替差損	—	86,288
貸倒引当金繰入額	2,318	—
支払家賃	34,632	11,808
その他	10,399	239
営業外費用合計	55,443	114,377
経常利益	1,021,241	710,801
特別損失		
固定資産除却損	4,674	11,304
減損損失	37,018	397
特別損失合計	41,692	11,701
税金等調整前四半期純利益	979,548	699,100
法人税、住民税及び事業税	93,033	117,188
法人税等調整額	98,917	110,130
法人税等合計	191,951	227,318
四半期純利益	787,596	471,781
親会社株主に帰属する四半期純利益	787,596	471,781

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)
四半期純利益	787,596	471,781
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,963	4,353
為替換算調整勘定	△49,789	74,405
その他の包括利益合計	△44,825	78,759
四半期包括利益	742,770	550,540
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	742,770	550,540

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結会計期間において、転換社債型新株予約権付社債の一部の権利行使を受け、新株の発行を行ったことにより、資本金及び資本準備金がそれぞれ500,000千円増加しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間において資本金が2,570,257千円、資本剰余金が3,802,786千円となっております。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

特定子会社の異動には該当しておりませんが、前連結会計年度において非連結子会社であった株式会社コシダカデジタルを、当社グループにおける重要性が増したため、当第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

(会計方針の変更)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前第1四半期連結会計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前第1四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	カラオケ	不動産管理	その他			
売上高						
顧客との契約から生じる収益	12,707,332	64,599	208,964	12,980,895	—	12,980,895
その他の収益	—	202,071	—	202,071	—	202,071
外部顧客への売上高	12,707,332	266,671	208,964	13,182,967	—	13,182,967
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	66,266	—	66,266	△66,266	—
計	12,707,332	332,938	208,964	13,249,234	△66,266	13,182,967
セグメント利益又は損失(△)	1,000,933	△3,049	△60,687	937,196	△363,962	573,233

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△363,962千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産に係る重要な減損損失及びのれん等の重要な変動について、該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	カラオケ	不動産管理	その他			
売上高						
顧客との契約から生じる収益	14,564,179	63,134	208,238	14,835,551	—	14,835,551
その他の収益	—	259,620	—	259,620	—	259,620
外部顧客への売上高	14,564,179	322,754	208,238	15,095,172	—	15,095,172
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	135,910	—	135,910	△135,910	—
計	14,564,179	458,664	208,238	15,231,082	△135,910	15,095,172
セグメント利益	1,036,909	30,240	1,427	1,068,578	△339,959	728,618

(注) 1. セグメント利益の調整額△339,959千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産に係る重要な減損損失及びのれん等の重要な変動について、該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)
減価償却費	987,648千円	1,074,196千円
のれんの償却額	555	95

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。